

2025  
7/13日



講演

参加費  
500円  
<資料代>

奈良平城宮いざない館にて

その昔、奈良は甲冑の名産地でした

# よろいのトビラ

奈良の



7月のマンスリーイベント

## — 武士の世に奈良の甲冑あり —

樹脂製着用甲冑工房「時代物工房 一助朋月」女将  
塚本 ゆえ 氏

時間 10:30 ~ 12:00

場所 平城宮いざない館多目的室

お申し込みはコチラ



募集要項・詳細は裏面へ▶

# 講演

## — 武士の世に奈良の甲冑あり —



参加費  
**500円**  
<資料代>

樹脂製着用甲冑工房「時代物工房 一助朋月」女将  
**塚本 ゆえ 氏**

**日時** 2025年7月13日(日) 10:30~12:00

**場所** 平城宮いざない館多目的室

お申し込みはコチラ



日本の歴史全体を見渡すと、平安末期の平清盛の登場から江戸末期徳川幕府がおわるまで大変長い時間、武士がリーダーとなる世の中でした。そのリーダーの座をねらうために各時代で「乱世」といわれる戦いの時代がありました。

この奈良が歴史の表舞台となった飛鳥時代や奈良時代からはずっと後のことです。では乱世の時代の奈良は歴史に埋もれてしまっていたのか。いいえ違います。もちろん奈良に生まれ活躍した、奈良に足跡を残した武将もいますが、他方で活躍したのは奈良で作られた「鎧兜・甲冑」とそれを作った職人たち「南都甲冑師」でした。鎧兜を見る楽しさとその歴史のとびらを一緒に開いてみたいとおもいます。

### 塚本 ゆえ (つかもと ゆえ) 氏 プロフィール



奈良県奈良市出身 滋賀県長浜市在住 /2012年より滋賀県長浜市にて樹脂製着用甲冑の製作工房を夫と営む。着て動くことを重視した軽量で丈夫な甲冑を製作し、舞台や歴史イベントほか石上神宮をはじめとする祭礼の衣装に採用されている。生まれ故郷の奈良に素晴らしい甲冑があること、かつてそれを作る一大産業があったことに深い感銘を受け、この仕事を通して奈良の甲冑の歴史をより学びを深めたい・多くの人と共有したいと活動中。



よろいのトビラ  
奈良の  
その昔、奈良は甲冑の名産地でした。

### 奈良のトビラ 平城宮いざない館 朱雀門店 <9:00~17:00> も好評営業中!



#### ▶奈良のトビラとは

奈良の「産品」と「情報」を全46都道府県にお届けするアンテナストアプロジェクトです。奈良のトビラは全都道府県をめぐる予定です。奈良の地域編集者を中心とする、観光事業者やイベントプロデューサーなど、県内事業者が協同で企画を運営。奈良は39市町村で成り立っています。地域の思いの詰まったいいモノや風土を活かした美味しいモノ、実はたくさんある奈良生まれのモノ等、奈良の魅力を知ってもらい、そして奈良に興味を持って、来てもらうことを目的に開催しています。

#### 平城宮跡歴史公園 平城宮いざない館へのアクセス

- 近鉄大和西大寺駅南口駅前広場バスのりばより「朱雀門ひろば前」下車徒歩3分
- 近鉄奈良駅前バス8番のりばより「朱雀門ひろば前」下車徒歩5分
- JR奈良駅西口バス13番のりばより学園前駅行にて「朱雀門ひろば前」下車徒歩5分

#### お問い合わせ

平城宮跡管理センター 奈良県奈良市二条大路南3丁目5-1  
TEL 0742-36-8780 FAX 0742-36-8781 URL <https://www.heijo-park.jp/>



公園ホームページ

heijokyusekirekisikouen 平城宮跡歴史公園 で検索

